

## 令和 2 年国勢調査結果を踏まえた本市の人口動態について

## 1 資料概要

令和 2 年に実施された国勢調査の確定値が公表されたことから、本市人口ビジョンで示している将来人口推計等と比較することで、本市の人口動態の現状を明らかにするものである。

## 2 人口推計と令和 2 年国勢調査結果の比較

平成 27 年の国勢調査時点において、本市の人口は、第 1 期本市人口ビジョン策定時に推計した「盛岡市総合計画推計」を上回っており、今回の令和 2 年国勢調査でも、その推計値と同程度で推移している。しかしながら、依然として人口減少は進行していることから、対策の必要性が一層高まっている。

表 1 各推計値と盛岡市推計人口との比較

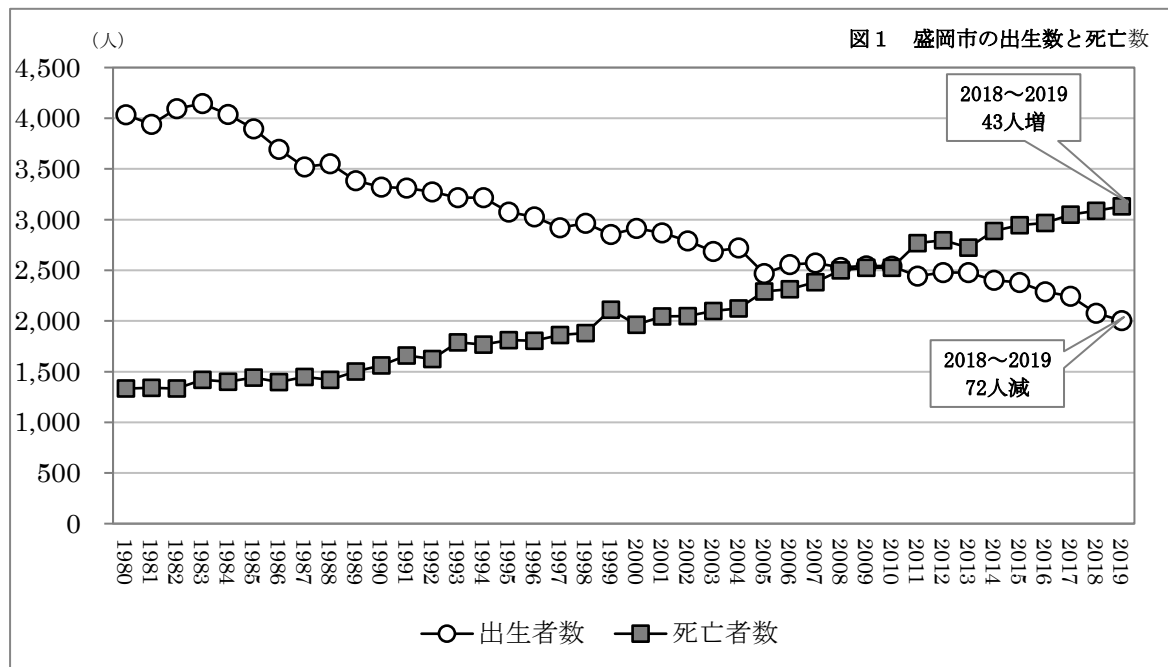
区分	2010	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2025	2030	2035	2040
盛岡市総合計画推計	298,348	297,047	(295,729)	(294,410)	(293,092)	(291,773)	<b>290,455</b>	281,820	271,739	260,458	247,898
人口ビジョン独自推計1	298,348	296,251	(295,295)	(294,339)	(293,382)	(292,426)	291,470	285,610	279,358	272,094	263,672
人口ビジョン独自推計2	298,348	296,098	(295,087)	(294,076)	(293,066)	(292,055)	291,044	284,808	278,052	270,267	261,231
岩手県準拠推計	298,348	296,361	(295,518)	(294,676)	(293,833)	(292,991)	292,148	287,038	281,779	276,371	270,361
社人研推計(H22基準)	298,348	294,998	(293,520)	(292,041)	(290,563)	(289,084)	287,606	278,398	268,023	256,599	243,930
国勢調査人口	298,348	297,631	-	-	-	-	<b>289,731</b>	-	-	-	-

※2010 年、2015 年及び 2020 年は国勢調査を基にした本市人口

### 3 人口動態の特徴

#### (1) 自然動態の特徴

本市の人口の自然減は、死亡数の増加と出生数の減少が相まって生じており、前回の平成27年国勢調査以降、その傾向はより強まっている。



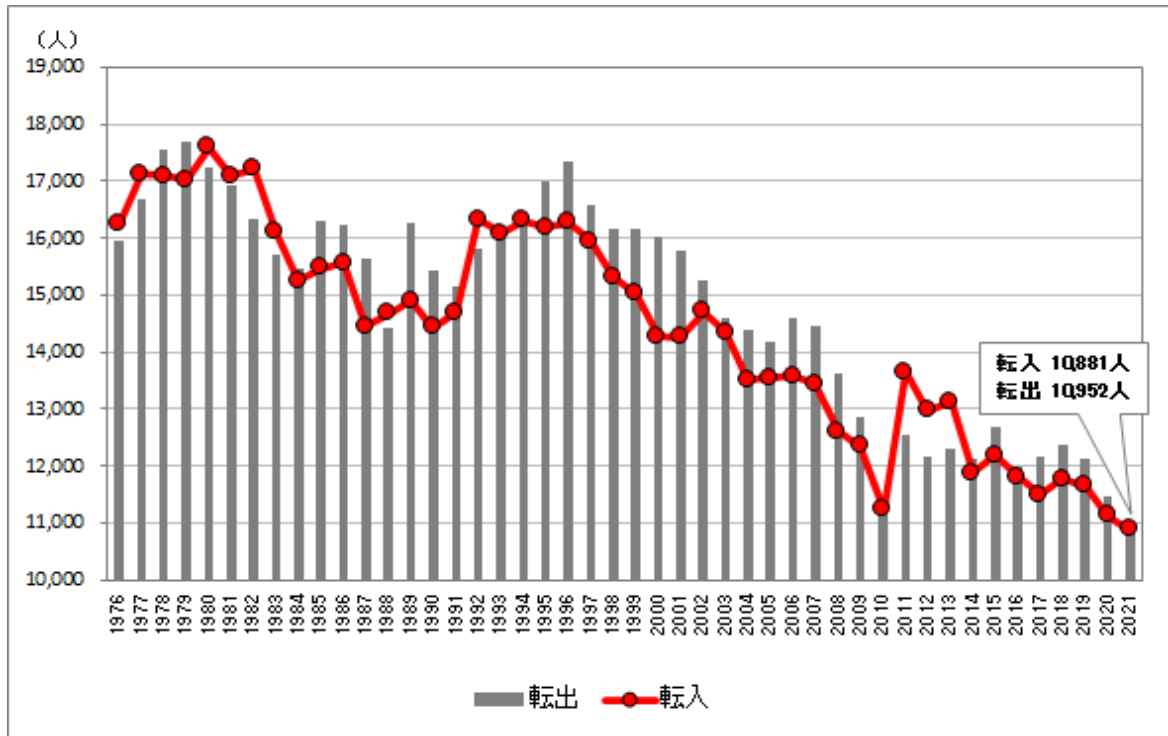
出所：岩手県人口動態統計より本市作成

#### (2) 社会動態の特徴

本市の社会増減は、おおむね均衡しているものの、全年代を見ると20代の社会減が最も多く、これまで同様、就職や進学による東京圏や宮城県への転出が大きな要因であることが見込まれる。

しかしながら、これまでと同様に転出超過の社会動態であるものの、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し始めた令和2年以降は、感染拡大地域で生活することへの不安の高まりによる転出の抑制や、テレワークの浸透による職住分離を背景とした地元回帰の機運の高まりなどにより、転出超過は抑制傾向にある。

図 2 盛岡市の社会増減の推移



出所：「戸籍・住民基本台帳関係資料」より本市作成

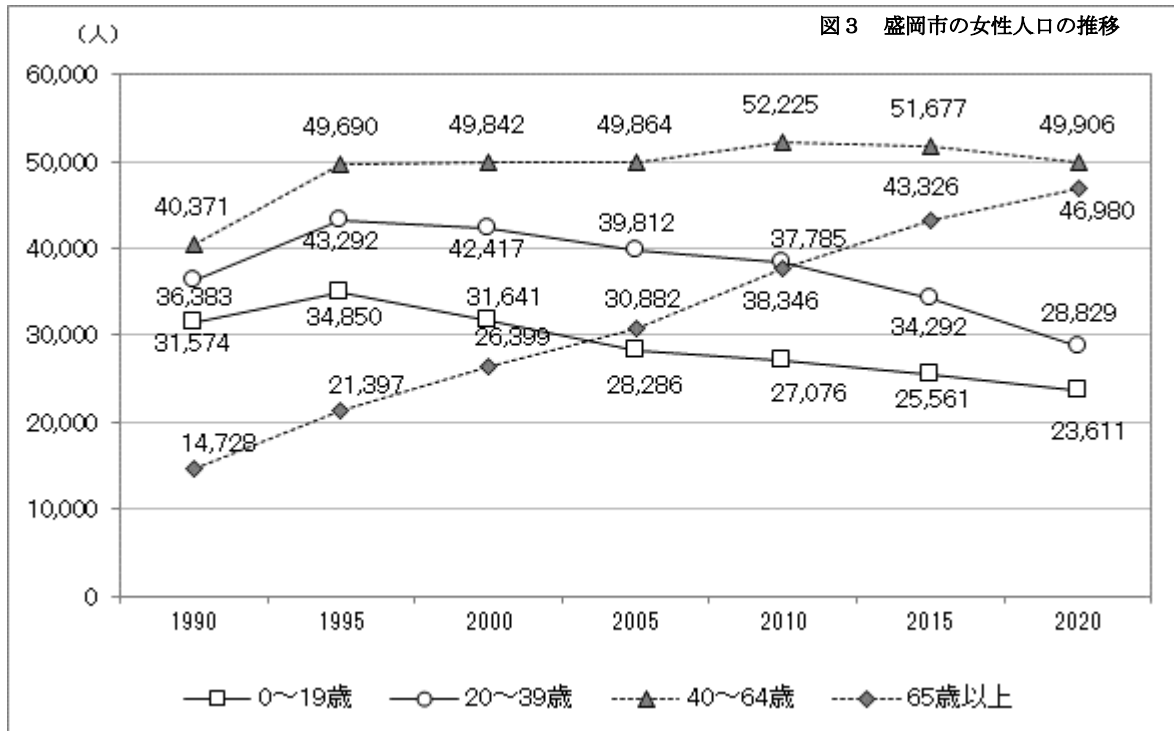
表 2 盛岡市の令和 3 年社会動態

令和 3 年	総数		年代							その他
			0 歳代	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上	
転入	10,881		1,013	1,037	3,964	2,050	1,199	760	848	10
	男	5,703	509	543	2,005	1,107	688	472	375	4
	女	5,178	504	494	1,959	943	511	288	473	6
転出	10,952		1,054	1,027	4,174	1,975	1,237	788	684	13
	男	5,860	527	556	2,149	1,071	731	505	316	5
	女	5,092	527	471	2,025	904	506	283	368	8
差	△ 71		△ 41	10	△ 210	75	△ 38	△ 28	164	△ 3
	男	△ 157	△ 18	△ 13	△ 144	36	△ 43	△ 33	59	△ 1
	女	86	△ 23	23	△ 66	39	5	5	105	△ 2

出所：総務省「住民基本台帳移動報告」より本市作成

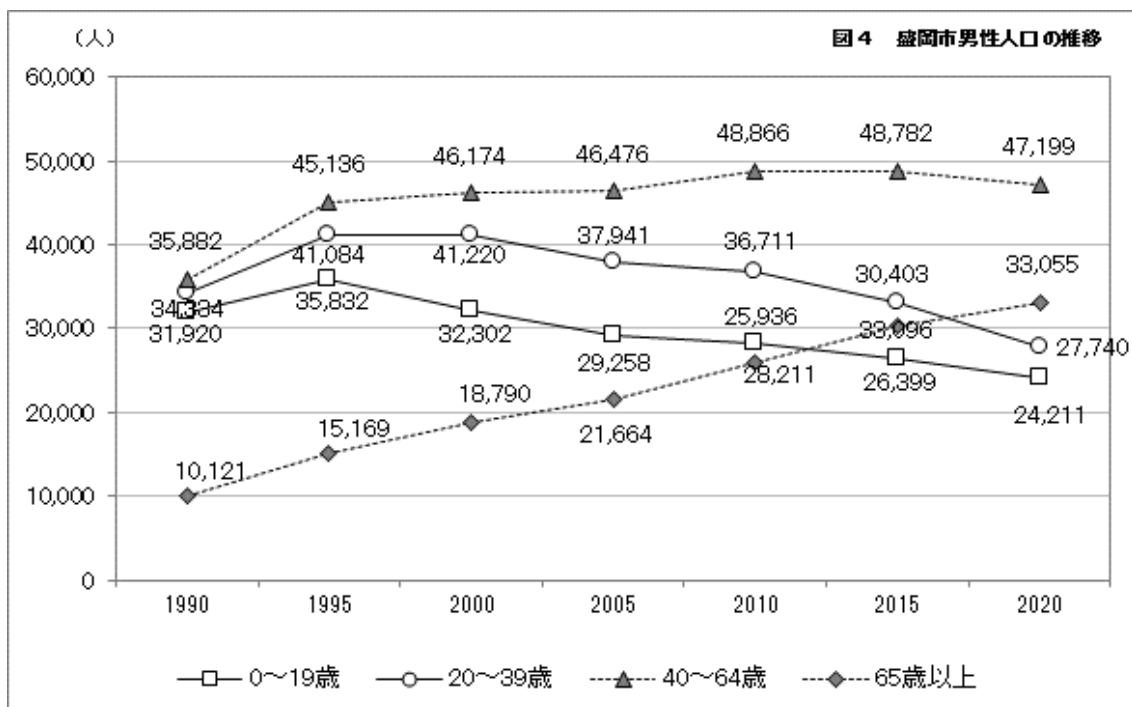
(3) 女性の人口動態について

本市の女性人口のうち、特に結婚・妊娠・出産の中心となる 20 歳から 39 歳の人口減少が、平成 27 年国勢調査以降で加速していることから、総合戦略の基本目標 1 に定める「若者・女性をひきつけるしごと創出」を一層進展させることが求められている。



出所：国勢調査より本市作成

(参考) 男性の人口動態について



出所：国勢調査より本市作成

#### 4 人口対策における今後について

今回の令和2年国勢調査で明らかとなった人口動態を踏まえて、今後の人口対策においては、総合戦略で基本方針と定める「若者をひきつけ躍動するまち盛岡」に向けて、子育て世代の中でも、女性から選ばれる都市としての魅力を高めるため、結婚・出産・子育て等へのより一層の支援が求められている。また、コロナ禍における県外への転出抑制と地元回帰への機運の高まりを好機と捉え、若者の就職の願いに応えるための雇用創出や創業に係る支援を拡充するとともに、移住・定住に至る前段階である関係人口のさらなる創出に向けて、ワーケーション等の新たなワークスタイルを実現できる環境整備など、総合戦略を力強く推し進める必要がある。